



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **08002792 A**(43) Date of publication of application: **09.01.96**

(51) Int. Cl

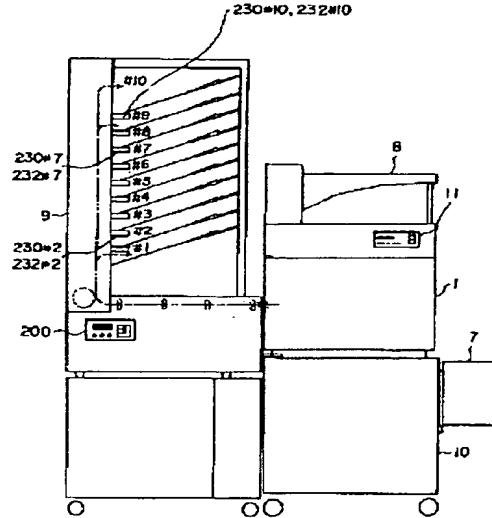
B65H 39/11**B65H 31/24****G06F 3/12**(21) Application number: **06132275**(71) Applicant: **RICOH CO LTD**(22) Date of filing: **14.06.94**(72) Inventor: **MOTEGI AKIHIKO
YAMAZAKI SHIGERU
KANEKO MASARU
NARITA MASAKI
KOMAI HIROSHI**

(54) IMAGE FORMING SYSTEM

(57) Abstract:

PURPOSE: To improve efficiency of use while ensuring confidentiality by preregistering a user of each storing step of a mail box, and when intended an output by a non-registered user to the registered storing step, adding information of the outputter to output paper output to a storing step except the registered storing step.

CONSTITUTION: In an image forming system provided with a mail box 9 having a plurality of bins #1 to #9 controlled by a command from a host computer through serial communication between itself and a laser printer 1, for the preset bin of the mail box 9, an operating part of an operating display panel 11 is operated, so that a user of this bin can be registered. In the host computer, when intended an output by a non-registered user to the registered bin, a direction is given to a CPU of a mail box substrate through a CPU of a controller substrate and print engine substrate, and information of an outputter is added to paper so as to be output to the bin except the registered bin.



[10030] また、プリントエンジンPCB51とDPX&LCIT・PCB91・MB・PCB93、及び操作表示パネルPCB94との間は、前述のようにそれぞれオプチカルファイバ・ケーブル96A、96B、96Cによってそれぞれ接続されている。この接続は、図4に示すようにプリントエンジンPCB51内の通信用インターフェース回路と、150Vの各シグナルライアンプフェース・ポートSIF1と、PCB91内のCPU152、PCB93内のCPU157及び操作表示パネルPCB94内の図示しないCPUの各シリアルインターフェースポートSIFとの間を、オプチカルファイバ・ケーブルを介した光通信ラインによって接続することによりなされる。

【0034】また、メイルボックスPCB93には、搬送用モータ230、ピン紙無しセンサ231、ピンオーバーフローセンサ232、メイルボックス入口センサ(ファイードインセンサ)233、各ピンの選択用ブランジャ235#1～235#9、各ピンを左右に移動させるためのジョブセバレーション・モータ240、各ピンの左右位置を検出するための左端スイッチ241及び右端スイッチ242が接続されている。
【0035】コントローラPCB62は、プリントエンジンPCB1内とのCUI142及びビデオコントローラ回路149とそれぞれ多数の信号線12、13並びに接続されると共に、フォントカートリッジ信号線12、13並びにエミッションカートリッジ接続端子14とも接続される。また、操作キー

イルボックスとホストコンピュータとユーザとの間で通信を行いながら接続が実行される。すなわち、登録されたピンを持っていないユーザがホストコンピュータからメイルボックスへの出力を指示した場合、この指示は、ユーザ自身の名前などの識別データとともにに入力される（ステップS1）。ホストコンピュータでは、メイルボックス9のピンに出力指示したユーザが設定されたピンを持っているかどうか判断する（ステップS2）。もし、当該ユーザ自身に設定されたピンがあれば、そのピンのナンバー#Nを表示装置11aに表示し（ステップS3）、当該ピンに出力する。[0041] しかし、ステップS2で設定されたピンがなければ、ナットコンピュータから、キヤセキ

ツクのかかっていないビンがあるかどうかメイルボック
スリのCPU 157に打診する。キーロックのかかつて
いないビンがあれば（ステップS4）、あるいは、も
し、キーロックのかかつてないビンがあれば、さち
に出力可能なビンがあるかどうかチェックし（ステップ
S5）、出力可能なビンがあれば、ビン#をホストコン
ピュータに知らせて（ステップS6）、ホストコンピュ

いる。ビデオコントロール回路149は、パーコントロール回路により半導体レーザ駆動回路によるレーザダイオードLDの発光強度をホトダイオードPDSからのフィードバック信号を用いて一定に制御させつつ、画像データに応じた変調信号VIDE0によってレーザダイオードLDを点滅させ、図1に示したレーザ畳込みユニット4による感光体ドラム2.9へのプリントデータの書

[0037]この実施例に係るメイリオックス9は、1～9ビンで、10ビン目は一般(共通)の挿出し部となっている。#1ないし#9の9ビンには、それぞれ各ビン選択用ブランジャーとしてロックブランジャー及び分岐ブランジャーが設けられ、さらに、オーバーフロー・センサ32#1～23#9ならびにビン遮蔽センサ23#1～23#9が設けられている。また、このMB.

7)、さらにボストンコンピュータは出力する用紙の任意の場所にユーザの識別データを加えてプリントにデータを出力する(ステップS8)。なお、前記出力可能なビンとは、用紙がオーバーフローしていないビン、言い換ればオーバーフローセンサ232がオンになってない状態のビンのことと指している。

[042]また、ステップS5で出力可能なビンがな

いと判断されたときには、出力不可能な旨出力して、ホストコンピュータの表示装置にその旨表示する(ステップ30)。

【0043】

【発明の効果】これまでの説明で明らかのように、メイリボックスの各取扱手段の使用者をあらかじめ登録する登録手段と、この登録手段に登録された取扱手段に、登録されていない使用者が出手力しようとしたとき、出力される用紙に出力者の情報と付加して登録された取扱手段以外の取扱手段に出力させる前記手段とを備えた請求單(記載の

外、上段出口スイッチ、上段駆動手段及び下段排紙トレーのオーバーフローセンサ等が備えられている。
[0033] DPCX&LC1-Tに備えている。両面搬送用のクラッチ216、両面ドライモータ1、両面入口センサ71、両面出口センサ72、用紙通路変更爪67を駆動するためのブランジャー67P、以降LC1-T用の給紙クラッチ220、ドライブモータ77、ペーパイセンサセンサ221、ペーパースタックの上下駆動用モータ222、カバーオープン・スイッチ223、上限スイッチ224、下限スイッチ225、ペーパーベンドセンサ226、トレイ下障用スイッチ227、及び両面部カバーオープン・スイッチ228が接続されている。
50

(7)

特許平8-2792

(8)

特許平8-2792

[図1]

[図2]

[図3]

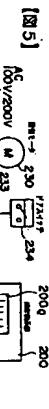
[図5]

[図1]

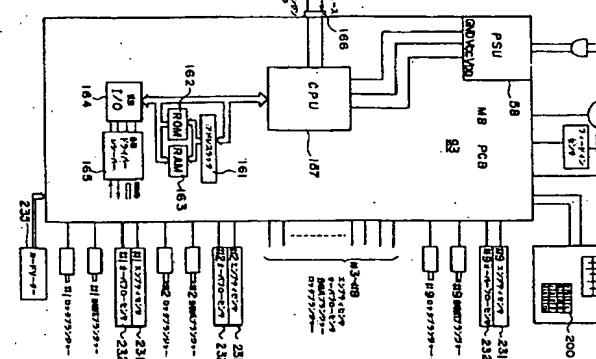
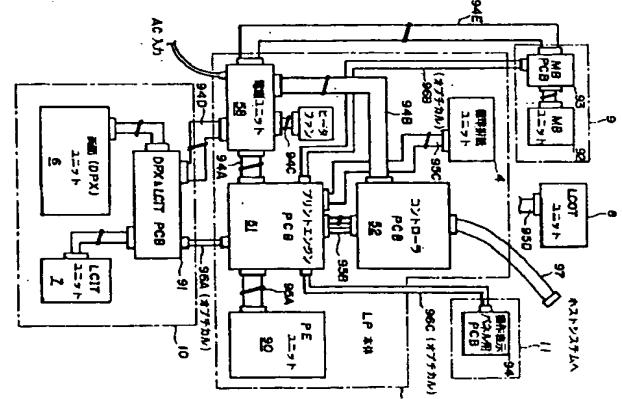
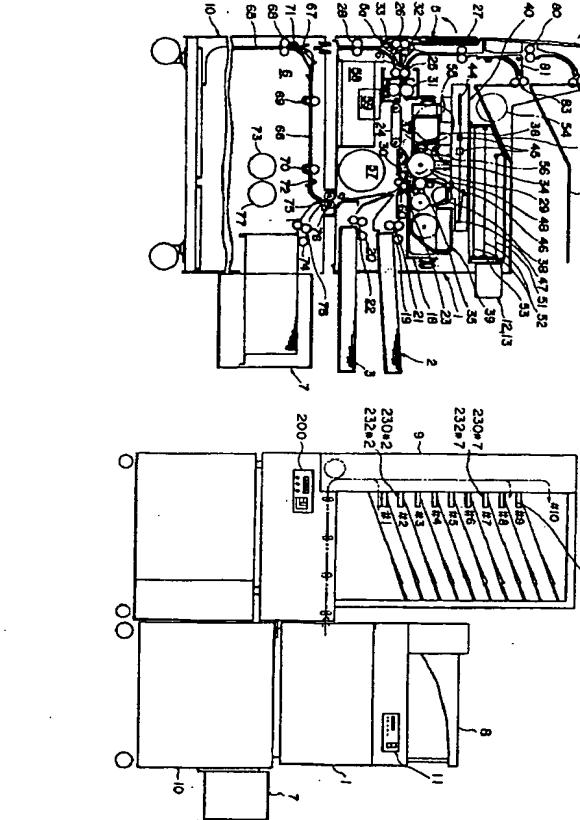
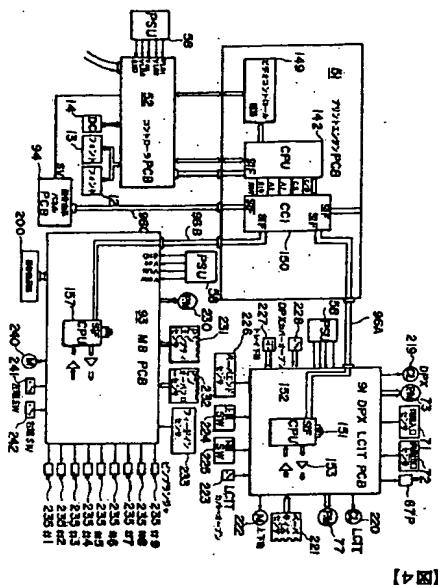
[図2]

[図3]

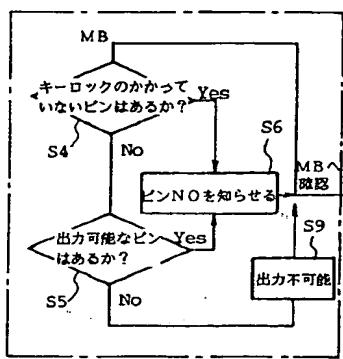
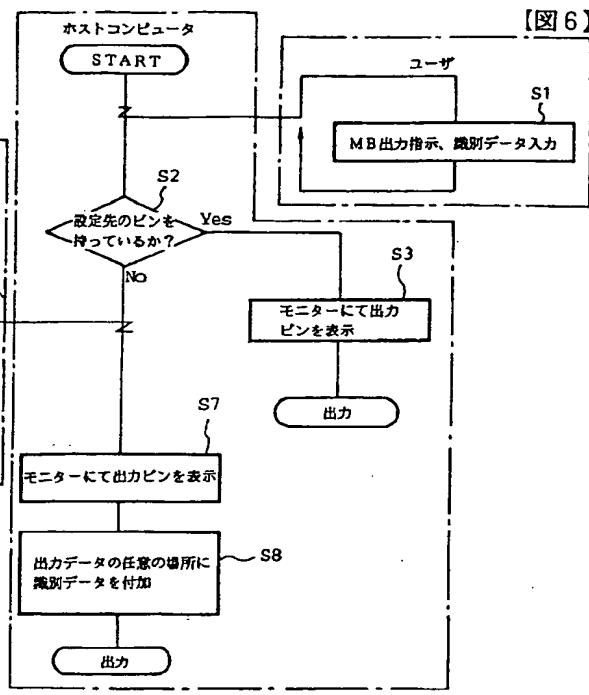
[図5]



[図4]



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 成田 直樹
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

(72)発明者 鈴井 洋
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内